

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 新開 広恵

- I 開催年月日 令和 7 年 3 月 18 日 (火)
- II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 2 時 45 分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎新開 広恵 ○篠井 哲治 出町 讓
石須 大雄 藪中 一夫 本田 利麻
曾田 康司 狩野 安郎
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [議長] 藪中 一夫 議長は委員として出席
- [副議長] 高岡 宏和
- [説明員] 別紙名簿のとおり
(小久保上下水道局総務課長が忌引のため欠席)
- [委員外議員] なし
- [事務局職員] 高嶋 史恵 二口 崇
- [傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第 1 号 令和 7 年度高岡市一般会計予算のうち本委員会所管分
- 議案第 4 号 令和 7 年度高岡市駐車場事業会計予算
- 議案第 8 号 令和 7 年度高岡市水道事業会計予算
- 議案第 9 号 令和 7 年度高岡市工業用水道事業会計予算
- 議案第 10 号 令和 7 年度高岡市下水道事業会計予算
- 議案第 16 号 高岡市手数料条例の一部を改正する条例
- 議案第 25 号 高岡市新高岡駅観光交流センター条例の一部を改正する条例
- 議案第 26 号 高岡市都市公園条例の一部を改正する条例
- 議案第 32 号 工事請負契約の変更について
(下伏間江福田線立体交差整備Ⅱ期その 1 工事)
- 議案第 36 号 指定管理者の指定について (高岡市高岡御車山会館)
- 議案第 37 号 指定管理者の指定について (守山市営住宅)
(蓮花寺市営住宅)
(立野市営住宅)
(中保市営住宅)

(東五位市営住宅)
(国吉市営住宅)
(一宮市営住宅)
(矢田市営住宅)
(東古府市営住宅)
(宮島市営住宅)
(中之宮市営住宅)
(戸出西部市営住宅)
(吉住又新市営住宅)
(西干場市営住宅)
(大滝宿舎)
(御旅屋市有住宅)
(御旅屋特定公共賃貸住宅)
(西干場特定公共賃貸住宅)

- 議案第 39 号 令和 6 年度高岡市一般会計補正予算（第 11 号）のうち本委員会所管分
議案第 41 号 令和 6 年度高岡市駐車場事業会計補正予算（第 1 号）
議案第 45 号 令和 6 年度高岡市下水道事業会計補正予算（第 5 号）
報告第 1 号 専決処分の報告について
 (令和 6 年度高岡市一般会計補正予算（第 8 号）)
報告第 2 号 専決処分の報告について
 (令和 6 年度高岡市一般会計補正予算（第 9 号）)

及び

- 報告第 3 号 専決処分の報告について
 (令和 6 年度高岡市一般会計補正予算（第 10 号）)

以上、当初予算議案 5 件、条例議案 3 件、その他議案 3 件、追加提出された補正予算議案 3 件及び報告 3 件の計 17 件については、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決・承認すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【議案第 1 号のうち、賑わい集積開業等支援事業費について】

- 令和 7 年 3 月の開業見込みも含めた 6 年度の実績と、開業したエリアは。また、開業した方のうち、県外から転入してきた方はどれくらいいたのか。さらに、T A S U を利用された方はどれくらいいたのか。加えて、7 年度予算に 2,600 万円が計上されているが、その内訳は。
△ 6 年度は 24 件の実績を見込んでおり、開業エリアはまちなかの重点支援区域で 16 件、中心市街地で 1 件、観光地で 3 件、伏木地区で 4 件となっている。県外から

の転入としては、能登から3件、関西方面から1件の計4件となっている。TASUの利用については、開業支援の補助を使わなかったケースも含め、7年2月末時点で24件の開業に結びついている。また、このうち11件がまちなかでの開業となっている。予算額2,600万円の内訳については、一般的な開業支援件数として22件と見込んで2,000万円の補助、残り600万円については大型店舗に対する賃料補助となっている。

- 大型店舗に対する賃料補助とは、先般、報道があった日本料理店「万葉」に関するものか。
- △ そのとおりである。
- 当該事業を通じて多くの開業に結びついている。今後も中心市街地がますます元気になるよう努めていただきたい。(要望)

【議案第1号のうち、大型クルーズ船受入事業費について】

- 大型クルーズ船受入事業費について、予算額1,600万円の根拠は。また、令和7年度の寄港予定は。
- △ 令和6年度は伏木港に外国船が4回、日本船として飛鳥Ⅱが2回寄港しており、計6回の寄港があった。予算については、クルーズ船の寄港回数に合わせた金額を計上しており、初寄港となる場合にはセレモニーの費用等も含めて多めに配分している。7年度は8回の寄港を見込んだ予算を計上している。

【議案第1号のうち、道の駅管理事業費について】

- 令和6年度予算に比べて増額となっているが、道の駅雨晴のEV充電スタンドの修繕費用を見込んでいると仄聞している。当該施設が供用開始された時期を確認させていただきたい。
- △ 平成30年4月に供用開始しており、急速充電器の更新費用を予算に計上している。
- 海岸部のためか随分早い更新という印象だが、予定された更新と受け止めてよいのか。
- △ そのようにご理解いただきたい。

【議案第1号のうち、市街灯管理事業費について】

- 最近、街路灯の故障が多く、交換を依頼しても在庫不足で交換に時間を要していると仄聞しているが、見解は。
- △ 本市では、令和元年度に街路灯を蛍光灯からLEDに交換している。一般的にLEDの耐用年数は6、7年とされており、設置からおおむね6年が経過したことで故障が多くなったものと考えている。街路灯が切れた場合は、報告があったその日のうちに業者へ交換を指示しているが、故障件数が多く在庫が不足したこと、製品の製造が追いついていないことなどが理由で交換に時間を要していた。現在、製品の欠品は解消し、順次交換しているところであり、おおむね4月上旬には交換が完了する見込みである。
- 街路灯が切れていると夜間は特に危険であるため、早急に対応いただきたい。(要

望)

○ 街路灯を設置する基準はあるのか。

△ 基本的には人家がある場所で、かつ、電柱など街路灯を設置できるところがある場合に設置しており、おおむね電柱2本に対し1箇所設置することとしている。

【議案第1号のうち、高岡古城公園維持管理事業費について】

○ 約3,300万円の予算が計上されているが、令和7年度もクラウドファンディングを活用しながら樹木の手入れをしていくという認識でよいか。

△ 高岡古城公園の樹木の伐採・剪定に係る予算として、6年度と同額の3,000万円を計上している。6年度と同様、景観再生プロジェクトを併せて実施していくこととしており、事業の推進を図っていきたい。

○ 予想を上回るスピードで進んでおり、市民からも大変好評を得ている。クラウドファンディングなどを活用し、今後も積極的に取り組んでいただきたい。ただ、樹木がすっきりした分だけ電線が目立っている。事業者とも調整する必要があるため、すぐに対応することは難しいと理解しているが、せっかく景観が美しくなっているのに電柱や電線のような人造物が見えてしまう。今後、動物園付近の手入れが進んでいったときにさらに目立つのではないかと思うので、今後対応を検討していただきたい。(要望)

2 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[産業振興部]

(1) 令和6年度「高岡イノベーション推進事業補助金」採択事業者及び「高岡市チャレンジ新商品」認定事業者について

(2) 海外販路開拓支援事業の実績概要について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

[都市創造部]

○ 令和6年度高岡市道路除雪の報告について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【令和6年度高岡市道路除雪の報告について】

○ 大雪や除雪に関する苦情の状況は。

△ 現時点で約800件の苦情があった。主な内容としては、「圧雪されて道路の路面状態が悪い」「交差点に雪が積み重なって見通しが悪い」「消雪の水が出ていない」などである。このほか、道路や工作物の破損、道路除雪の追加要望などもある。除雪については、当番がパトロールし、対応できる場所は順次対応してきた。工作物

の破損については、雪が解けた後、基本的には7年度に入ってから対応することとしている。

- 私も地域の除雪に協力しているが、特にまちなかは雪置き場の確保が課題である。雪を置く場所がないとどうしようもなくなるし、遠方まで持っていくとなると時間もかかる。地域の方々の協力を得ながら取り組むべきものであるため、議員としてもっと地域に協力を働きかけなければならないと思った。私にも住民から除雪の電話がかかってきて、現場に向かうとサンダルを履いて家の前でポケットに手を突っ込んで待っている方もいる。笑い話のような話ではあるが、雪国では住民の方々の協力、意識も重要である。これは行政の責任というわけではないが、今後考えていかなければならない課題だと思う。今回、除雪本部に従事された延べ204名の方々は大変だったと思うので、よく労っていただきたい。(要望)

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

- 次回の本委員会の開催について

令和7年4月17日(木)午後1時に開催することが報告された。

- 本委員会の行政視察について

令和7年5月7日(水)から9日(金)に実施することが報告された。

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 当局からの次の報告・説明があった。 〉

[上下水道局]

- 地中レーダによる路面下の空洞探査の実施について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（27名）

産業振興部長	式 庄 寿 人	都市創造部長	赤 阪 忠 良
産業振興部次長	長 久 洋 樹	都市創造部技術政策監	梶 本 敏 規
産業振興部次長	須 田 稔 彦	都市創造部次長	伴 孝 宏
産業振興部参事（兼務）	伴 孝 宏	都市創造部次長 都市計画課長 震災復旧推進課長	山 森 久 史
産業企画課長	今 方 順 哉	景観みどり課長	田 口 昌 子
商業雇用課長	中 川 正 人	道路整備課長	中 出 裕 嗣
観光交流課長	野 村 岳 人	土木維持課長	中 澤 俊 一
農業水産課長	割 田 一 郎	建築政策課長	氷 見 和 人
農地林務課長	横 山 太 一	営繕課長	井 林 哲 雄
みなと振興課長	上 田 浩 樹	福岡駅前土地区画整理推進室長	橘 茂 徳
地域振興交流課長	有 栖 友 広		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
農業委員会事務局長（併任）	須 田 稔 彦	上下水道局次長	寺 井 義 則
		総務課長	小 久 保 光 章
		営業課長	熊 本 敬 二
		水道工務課長	片 岡 利 行
		下水道工務課長	高 林 隆
		施設維持課長	村 栄 正 英